



SUBARU **XIV IL360-450**





スバル 360は軽自動車です。
免許は軽自動車免許です。普通自動車に比べて半分の費用と半分の時間で取得出来ます。
販売は年額 3,000円。強制賠償保険料は年額 1,165円です。
車体検査はありません。これにかかる整備を特約店で受けていただくだけです。

スバルは航空機の技術から生まれました

富士重工業の前身は、日本の航空機工業史に輝かしい足跡を残した中島飛行機で、その技術的伝統は、今日のスバルにまで受けつがれています。

スバルは、軽自動車の制限（全長3.0m、全巾1.3m、総排気量360cc以下）内でつくられているミニカーです。

この制約のもとにありながら、最高速度90km/h、200m区間の加速性17.1秒という性能を誇り、大人四人がゆったり乗れる——軽自動車でありながら、小型自動車と同じ性能、乗り心地を持つ——ここに設計の苦心がありました。

スバルは、車両重量を僅か397kgという軽量にまとめ、これを強力な2サイクル18馬力エンジンでけん引して、この問題を解決しました。

車両重量を軽くするために、モノコック構造が採用され、薄い鋼板を使用しても強度が落ちないように、丸いシルエットが生まれました。また、同じ排気量で大きな出力を出すために、2サイクルエンジンが選ばれています。

こうして、技術の粋を集めて作られたスバルは、1958年式の第1号車から現在まで、全くモデルチェンジをしておりません。合理性を追求して設計されたスバルのモデルには、チェンジの余地もないのです。

しかし、お客様のご要望を常にとり入れて、改良すべき所は直ちに改良してきました。64年式では、ライト廻りを改良してあります。スバルこそ合理性を尊ぶ近代人の足である、と誇りをもって皆様におすすめいたします。



1958

1963



この6年の間モデルチェンジしていません





スバル360スタンダード



スバル360デラックス

スバル360 スタンダード

全国统一現金価格
¥ 365,000 (北海道・離島を除く)

強制空冷2サイクル・356cc・18馬力

■ 最高速度	90km/h	■ 燃料消費率	28km/ℓ	■ 登坂能力	17.5°
■ 最小回転半径	4 m	■ 全長 2,996mm	全幅 1,300mm	■ 車両重量	397kg

スバル360 デラックス

全国统一現金価格
¥ 390,000 (北海道・離島を除く)

強制空冷2サイクル・356cc・18馬力

■ 最高速度	90km/h	■ 燃料消費率	28km/ℓ	■ 登坂能力	17.5°
■ 最小回転半径	4 m	■ 全長 2,996mm	全幅 1,300mm	■ 車両重量	402kg

スバル360

コンバーチブル デラックス

国産唯一の幌付きで、開閉は簡単です。
仕様はスバル360 デラックスと同じ仕様で、
ご注文により生産致します。

全国统一現金価格

¥ 398,000 (北海道・離島を除く)



スバル450 デラックス

全国统一現金価格

¥ 425,000 (北海道・離島を除く)

423ccエンジンを搭載した23馬力の高性能車で、普通車のなかで最も小さな乗用車です。前進6段に使える副変速機、交流発電機など、ユニークな新機構をとり入れ、シートはリクライニングシートになっています。

ハイウェイでスポーツカー的なドライブがたのしめる車です。

強制空冷2サイクル・423cc・23馬力

■ 最高速度	105 km/h	■ 燃料消費率	26km/ℓ
■ 登坂能力	19.7°	■ 最小回転半径	4 m
■ 全長 3,115mm	全幅 1,300mm	■ 車両重量	410kg



スバル450デラックス

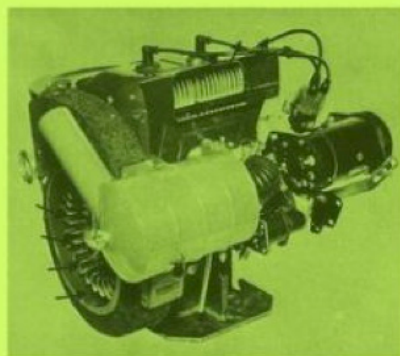
ギア比率	
1 速	3.106
2 速	1.590
3 速	1.000
オーバートップ	0.814
後進	3.624



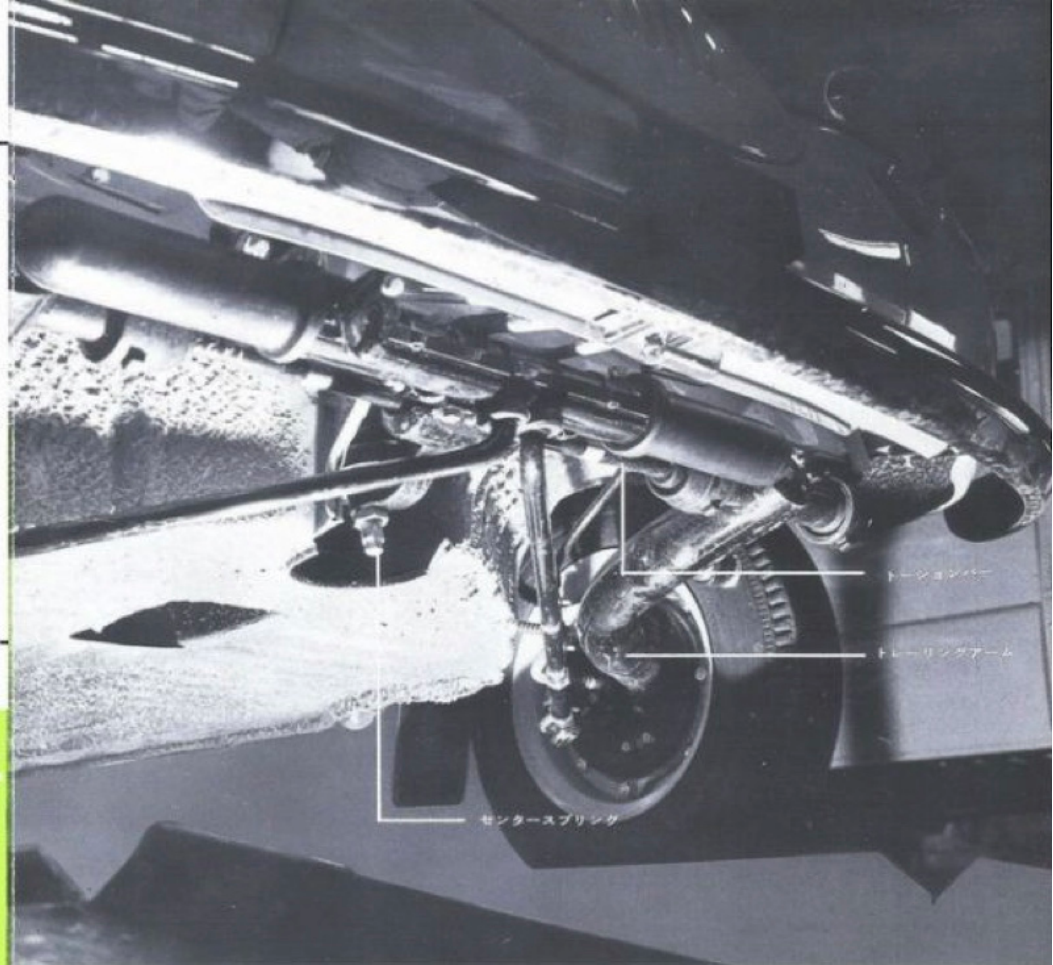
卵の様な形をしたボディは、すばらしい強さを持っています。卵にはその形を支える柱も棒もありません。それは外からの圧力を表面に均等に配分してしまうので、一ヶ所にだけ強い力がかからないのです。ジェット機の胴体も、同じモノコック構造です。この軽くて丈夫なボディが、スバルの高性能の秘密なのです。

●スバルはモノコックボディです

●スバルは強制空冷2サイクルエンジンです



自動車のエンジンには、2サイクルと4サイクルと二つの方式があります。2サイクルの名は、ピストンが行きと帰りと、1往復の間に1回爆発するところから生れ、4サイクルとは、その倍の2往復の間に1回爆発するところから名付けられています。それだけに2サイクルエンジンは、大変に簡単な構造です。エンジンの大きさも小さく軽量で、同じ排気量の4サイクルエンジンに比べて、約1.5倍の出力を出すことが出来ます。又構造が簡単ということから故障が少い、長持ちするというすぐれた利点をもっています。エンジンはガソリンを燃やし、その爆発する力を利用して動かすのですが、エンジンの働きをいつも正常に保つためには、冷却装置が必要です。スバルは強制空冷方式という、エンジン自身の力で、たえず外から冷たい空気を取り入れるという独特のもので、エンジンの回転に合わせて、冷却ファンが回転しますから、冷却効率がよく、オーバーヒートの心配はありません。水冷方式の様にラジエーターやウォータージャケットを必要としないので、小さく、より軽いエンジンが完成したのです。



●スバルの乗心地を味って下さい

乗り心地の良い悪いは、乗り物である自動車の価値を決めます。スバルのクッションは、独特な設計による理想的なクッションです。その良さは、スバルクッションの代名詞と呼ばれ、遠く海外まで知られています。

上の写真をごらん下さい。トーションバーとセンタースプリングが組み合わされています。タイヤに受ける大きなショック（衝撃）は、トーションバーで、さらに小さなショックや振動はセンタースプリングで吸収してしまうのです。

また、スバルは、四つの車輪がそれぞれ独立して働くように造られていますから、いつも滑らかな乗り心地を保つことが出来るのです。

●ジェット機からスバルまで

富士重工は、かつての中島飛行機時代の技術と伝統をうけつぎ、これを活かして、数々の製品を「最高の性能でサービス」をモットーとして世に送り出しています。

スバル 360をはじめスバル 450、サンバー、カスタムのスバルシリーズ、ラビット、バスやトロリーの「フジコーチ」、農村に活躍するロビントラクター、ロビンエンジン、気動車や電車などの各種鉄道車両、構内運搬車モートラック、ロードバッカー、冷凍車、各種コンテナ、ラビット消防ポンプ、さらに独自の設計によるジェット機、大型ヘリコプターなど、すべて富士重工のすぐれた技術から生み出されたものです。

そして、その一つ一つは、驚異的な成長を続ける日本経済の大動脈につながり、国民生活を豊かなものに行っているのです。



スバルは日本語です。1月の夜、南の空に輝く、牡牛座の中に見える六つの星、これがスバル星と呼ばれる星の群です。日本では昔から、昂星〈ぼうせい〉とも、統星〈すばるぼし〉とも呼ばれ、枕草紙の中にも、「星はすばる……」と書かれております。

6個の星を形どったスバルマークは、昭和30年4月に出資5社を吸収合併し、6社分の力をあわせて発展しつつある富士重工のシンボルなのであります。



富士重工業株式会社

東京都千代田区丸ノ内2-18 (内外ビル)
電話 東京 (212) 5311 (大代表)